

# 子育てサポート企業～株式会社中冷～

—2013年初めての認定企業！！—

山口労働局（局長 笹嶋貢）は、株式会社中冷（代表取締役社長 新井 裕）を「子育てサポート企業」として新たに認定しました。「子育てサポート企業」は、山口県内においては8社となりました。

くるみんマークの認定とは、行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、必要書類を添えて申請を行うことにより、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣（都道府県労働局長へ委任）の認定（くるみんマークの認定）を受けることができます。認定を受けた事業主は、次世代認定マーク（愛称：くるみん）を、商品、広告、求人広告などにつけ、子育てサポート企業であることをPRできます。その結果、企業イメージの向上、従業員のモラルアップやそれに伴う生産性の向上、優秀な従業員の採用・定着が期待されます。



認定マーク「くるみん」

… 山口労働局長室で認定通知書交付式を行いました …  
（平成25年1月21日）



笹嶋局長から認定通知書を受け取る(株)中冷の山田憲彦執行役員(右)



認定通知書交付式後の笹嶋局長と山田憲彦執行役員(右)

## ●認定企業の紹介●

### 株式会社中冷

代表者 代表取締役社長 新井 裕  
所在地 山口県下関市彦島西山町 4-10-6  
労働者数 221人(男性 88人、女性 133人)

### 【取組概要】

- ☆ **男性が育児休業を取得。計画期間中の男性育児休業者1名以上**  
2名の男性が育児休業を取得した。
- ☆ **育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備として育児休業等諸制度を周知する**  
各部の係長・主任より、従業員への就業規程の説明を行った。
- ☆ **所定外労働を削減するため、全社一斉退社日を年2回実施する**  
平成22年、23年に年2回ずつ実施した。
- ☆ **所定外労働削減のための措置を実施する**  
部署ごとに毎月ノー残業デーを設定し、実施した。
- ☆ **子ども参観日の実施、近隣の小中学校生徒の工場見学実施**  
従業員の子どもを対象とした子ども参観日の実施、近隣の小学生を対象に工場見学を実施した。

## ●認定企業にインタビュー

認定申請にあたって困難であった点や認定マークの活用などについて、株式会社中冷に伺いました。

### ◎株式会社中冷

◇ 認定を受けた感想をお聞かせください。

次世代法の認定企業は全国で約1300社あるとのことですが（平成24年7月末現在）、県内では8社目ということで大変光栄に思っております。

◇ 認定を受けようと思われたのはどのような理由からですか。

子供を持って、安心して仕事を続けられる職場を目指して取組を実施した結果、目標を達成することができました。達成したことを形に残せればと思い、今回認定を受けることにしました。

◇ 認定をうけるためには9つの基準を全て満たす必要がありましたが、そのうち達成が難しかったのはどの基準ですか。

当社が目標として、地元の小学生を対象に工場見学を企画しましたが、学校とのつながりがなく、少人数でしか受け入れができないため、実現までに時間がかかりました。

◇ 貴社で取り組まれた次世代育成支援対策のうち、特にアピールしたい点はどのようなことですか。

育児休業を取得しやすくするため、就業規程の変更を行いました。(当社、育児休業期間中の給与は無給でしたが、変更後は取得開始から5日間は有給としました。)

◇ 認定を受けると認定マークを広告や商品につけることができますが、貴社としては認定マークの活用についてどのようにお考えですか。

名刺にマークを入れて認定企業であることをアピールしていきます。また、ホームページでも公開する予定です。

◇ 企業が次世代育成支援対策を進める上で難しいと思われる点や行政に希望する支援策はありますか。

特にありません。

◇ 次期の行動計画を策定・実施していらっしゃると思いますが、今後の抱負などあれば教えてください。

前は男性の育児休業取得1名以上が目標でしたが、現在2名以上を掲げております。また全社一斉退社日も年2回から3回に増やすなど、よりいっそう働きやすい職場作りを目指して参ります。

◇ これから認定を目指す他の企業へのアドバイスなどがあればお願いします。

申請時には目標を達成したことを証明するものが必要なので、スムーズに申請を行うために、都度、文書化して確実に保管しておくことをおすすめします。